

コロナ禍における 産業の変化をよむ

〈観光〉と〈自動車〉、裾野の広いこの2つの産業から、
これからの社会を考える

2021年 **3** 月 **18** 日 **木** **14:00～16:20**

Zoom
開催

定員100名
〈先着順〉

参加費
無料

申込方法

▷以下3項目を明記の上、e-mailにてお申込ください。

(★印は必ずご記載ください。＊印は任意)

★ご氏名(ふりがな)

＊所属企業名・団体名

★「3/18 講演会参加希望」

▷申込先 shakoza@hagoromo.ac.jp

または 右記 QR コード



▷ご参加いただくための Zoom ミーティングの ID と
パスコードを 3 月 1 日より返信いたします。

お問合せ

羽衣国際大学 「産業経営講演会」 係

TEL. 072-265-7145

学術情報・地域連携センター [月曜-金曜 09:00～17:00]

〈講演1〉

**変革の時を迎えた観光産業
～今後の動向を展望する～**

— 古谷 昌重 (ふるたに まさしげ)
羽衣国際大学現代社会学部
准教授

～休憩～

〈講演2〉

**日系メーカーも注目の
ヨーロッパ新興自動車生産地域
～その発展の軌跡と現在地～**

— 岡崎 拓 (おかざき たく)
羽衣国際大学現代社会学部
専任講師

コロナ禍における産業の変化をよむ 〈観光〉と〈自動車〉、裾野の広いこの2つの産業から、これからの社会を考える

講演概要

〈講演1〉

変革の時を迎えた観光産業 ～今後の動向を展望する～

— 古谷 昌重 (ふるたに まさしげ)

羽衣国際大学現代社会学部 准教授

新型コロナウイルスの蔓延は観光関連産業に甚大な打撃を与えました。同時に変革のための新たな時が到来したという現実をいやおうなしに突きつけました。既存の概念から脱却した新たなビジネスモデルが求められる時代が待たなしで到来したのです。本講演では大転換期を迎えた観光産業の現状と課題、そして将来展望について考えていきます。

まずは、観光需要を喚起し地域経済を下支えする施策として打ち出された GoTo トラベル事業。昨年の取り組みを振り返り、事業結果から見えてきたものは何か、その先の将来展望は何かについて概説します。

次に、観光産業の中核的役割を担ってきた旅行業界について。旅行業界はコロナ禍以前から社会の変化に伴う様々な課題に直面していましたが、ここにきて大幅な人員削減など、思い切った決断で大舵を振るう構造改革が求められるようになりました。大手旅行会社とオンライントラベルエージェント (OTA) の動向を踏まえながら展望します。

また、これからのトレンドとして注目されているワーケーションと観光型 MaaS について取り上げ概説します。これからの観光産業や地域のあり方について皆さんと一緒に考える機会になれば幸いです。

〈講演2〉

日系メーカーも注目のヨーロッパ新興自動車生産地域 ～その発展の軌跡と現在地～

— 岡崎 拓 (おかざき たく)

羽衣国際大学現代社会学部 専任講師

今日までの30年間で、欧州自動車産業の状況は大きく変化しました。その変化の中心地のひとつが、ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリーが含まれる中欧地域です。

この中欧4ヶ国は、1990年代の市場経済体制移行と2004年のEU加盟という政治・経済・社会システムの変化を経験してきました。これらの変化は、この地域の主要産業の一つである自動車産業に対しても大きな影響を与え、欧州の自動車生産の「東方拡大」につながりました。中欧地域にはアメリカ、欧州、そして日本を含むアジア系大手自動車メーカーが進出し、この地域はEUの中の新たな自動車集積地域になったのです。

今回の講演では、なぜ中欧の自動車生産は拡大したのか、そして電動化と新型コロナへの対応の渦中にある中欧自動車産業の現況はどうなっているのか、という2点を中心にお話しします。特に、自動車産業の構造変化が大きいポーランドを中心に取り上げて、生産ネットワークの変化や主要メーカーの動向に注目します。

自動車産業の構造変化の視点から、中欧地域の経済がこの30年でどう変化し、今どのような状況にあるのかをみていきましょう。